

キャンパス・コラム

桜があちらこちらで咲きはじめ、その可憐な美しさにしばらく足が止まる季節になりました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

「大学ランキングネット」というホームページ(<http://www.tradewind.or.jp/~abc/rank/>)があります。このHPは、各大学の在学学生や卒業生に、大学生の生の声を投稿してもらい、その内容を掲示板に自動的に載せるものです。

気になって我(！)中央大学のホームページの掲示板を覗いて見ますと、好意的な意見があるかと思えば、かなり辛辣なコメントも掲載されています。その中で気になったのは次のような意見です。

- ・「法学部以外の中大生は卑屈人間の集まりだと思ふ。中央は人間も学校も暗い」
- ・「就職もあまりぱっとしていないみたいです。地元(富山県)でもあまり知名度がないのも残念です。知名度のある私立大学は早稲田、

慶応、同志社、立命館の4私大が高いです。最低でも同志社、立命館に受かっておきたかった。この4つの私大全部落ちました。受かったのは、中央、ぐらい」

「何をひがんでるんだ！そんな暇があったら勉強しろ！」と思わず怒鳴りつけたくになります。このような意見を見るにつけ、偏差値の呪縛からなかなか抜けだせない学生がいることをとても残念に感じます。

偏差値は大学入学時のひとつの学力基準にすぎません。どこの大学に入っても、それからまた新たなスタートが始まっているはずです。

今年の神奈川の就職合同説明会のポスターに次のコピーがあります。

「もう、ほっとこうよ、まだ学校名にこだわっているような会社は」

君が入学し、そこで学び、そして卒業した大学に誇りを持ってください。中央大学は、これからもそれに恥じない大学でありたいと思っています。

広報委員 新井洋一(経済学部助教授)

七千人の先輩が今日、卒業を迎える。資格取得に励んだ。サークル活動に情熱を注いだ。アルバイトに専念した。旅行ばかりしていた。さまざまな四年間だったと思います▼大学生という特権を遺憾なく発揮し肉体的・精神的に充実した年月を過ごした先輩。それとは逆に、大学生となつて誰からも拘束されない自由を手にしたものの、漠然とした不安を抱きながら、何かやらなければならぬ、でも一体どうしたらよいのかわからない。煮え切らない思いのままで卒業を迎える先輩もいるでしょう▼しかし、私は両者の先輩を共に「カッコいい」と感じる。強い目的意識を持ち行動した先輩と、試行錯誤を繰り返して、それでも行動に至らなかった先輩。両者には真剣に自分と向き合った姿が見える。そんな「カッコいい」自分を次のステージである社会で試してほしい。きつと新たな自分を発見するだろう▼今いる「カッコいい」自分を育ててくれた中央大学。そのキャンパスを、しっかりと目に焼付けて卒業してください。本日は御卒業おめでとうございます。

(倉田 政美)

編集後記

Hakumon
ちゅうおう

'99・卒業生号(第146号)

1999年(平成11年)3月24日発行

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉 広報部広報課 ☎0426-74-2146

印刷 泰成印刷株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国3-1-12

電話 03-3631-8141